

# 中心静脈栄養(CV)ポートを挿入する方へ

様

	手術前日まで	手術当日	手術翌日
観察		創部の出血、痛み、皮下出血など気になる症状がありましたら教えてください。	
安静	制限はありません。 	手術前は制限はありません。帰室時は車椅子で病室に戻ります。その後制限はありません。	制限はありません。 
食事	制限はありません。 	手術の時間によって朝または、昼から絶食です。  手術後より、食事が可能です。	制限はありません。 
清潔	入浴できます。 	手術後は身体を拭くことができます。 	シャワーに行けます。 創部の処置・観察をします。 看護師に声をかけてください。 
排泄	制限はありません。 		
診察	毎日診察があります。 		
処置	今後リザーバーを自己管理する人は、自分で操作しやすい部位を術前に確認することができます。必要に応じて、手術部位を手術室にて除毛することがあります。	手術後、創の状態を確認後問題点がなければ、リザーバーから直接点滴を行いません。 	抜糸まではシャワー後に、創部の消毒をします。
リハビリ	制限はありません。		
検査	術前採血が済んでいない場合、採血をします。	手術終了直後、中心静脈栄養(IVH)リザーバーが正しい位置に入っているか確認するために、レントゲンを撮ります。 	
薬物療法	お手持ちの薬の確認をし、手術当日の内服薬の説明をします。 	手術室で点滴を開始します。手術後、6時間後に抗生剤の点滴があります。 	
説明	「中心静脈(IVH)リザーバーを挿入する方へ」のパンフレットを見ながら、手術前日、当日、術後のオリエンテーションを行いません。 	手術後、リザーバー証明書をお渡しします。	
指導			
目標	リザーバー挿入の目的がわかり、納得して手術に臨める。	痛みがコントロールされ、創部に異常がない。	創部に異常がない。

\* 症状・経過によっては、スケジュール通りにならない場合があります。

2008年2月作成(2015年6月改訂)パス委員会承認 聖隷浜松病院 A8病棟